

## 『ALL J AMMNET』イメージロゴマークの制作と紹介

以前よりお知らせしていましたが、この度、J H 1 N O B 西田さんのALL J AMMNETに対する活動への理解と、多大なボランティア的御協力を得て、現在運用されている三つのJ AMMNET、シーガルNET = モーニングパート、オケラNET = アフタヌーンパート、そしてドンタクNET = イブニングパートの連携と運用協力(ユニオン・アライアンス)を意味する『ALL J AMMNET』としてのマークを今回、リメイクし作成しました。

**\*\* ALL JAMMNET マークは下記のリンクをクリックしてご覧ください \*\***

[http://www.okeranet.com/mmnet\\_mark.pdf](http://www.okeranet.com/mmnet_mark.pdf)

デザインの原案は3年前のハムフェア時、J AMMNETブース出展の際にWEB・BBSで皆さんに提示したラフデザインについて、色々な御意見があった中、今回はより見やすく、また理解しやすいデザインにアレンジして制作戴いたもので、皆さんにおかれては目新しいものではないと思われませんが、今後MMNETへの熱心な協力者であれば誰でも利用可能なマークとして普及を図ってゆきたいと思えます。

この『ALL J AMMNET』の名称は、現在、各々あるMMNETのさらに上部組織を意味するものではなく、将来において三つのMMNET運用が、より一層の協調性を意味する、『イメージ・ロゴ』としてのものです。それは、各NET間の相互交流により、今まで以上に『幅広い連携により、MM局へのフォロー協力体制、そして、NETをサポートする多くの参加局との出会いと親睦。』など、陸上と海上をお空で繋ぎながら、『NETの緊張感や楽しさの中、双方のバランスがとれた運用イメージ』を意味するものに他なりません。

大切な事は、現在ある個々のJ AMMNETは、各NETのネットコントローラー(NC)の運用スタイルにより、一つ一つのNETが個性的であり、また大きな役割もあり皆さんからの共感も得られる中、親しまれ運用されてもきています。今後も、それら培われた素晴らしい特徴を継続しながら、海上移動局の支援活動として皆さんからのボランティア協力がなされてゆくことを願うものです。

この度、ここにマーク原案をPDFファイルで提示致します。このマークの利用は無償であり、特に使用への手続き等は必要ありません。Copy戴き、US・M

MNETのメンバーのように御自分の交信カード、また御自分のQRZ.COMやブログにマーキングし、制作されても結構です。イベント時のアピールポスターやパンフ、また更にワッペンやステッカー等、その他、皆さんからの、よきアイデアがあればお知らせ下さい。

ただ、マークの使用はJAMMNETサポート協力局である事と、その利用は良識ある範囲内に限らせていただきます。そして是非、制作されたものをBBS上、写真等で御紹介下されば楽しい事でしょう。また、さらに将来、このイメージマークが皆さん方々のMMNETボランティア活動への誇りを意味するものに、なるようであれば願ってもないことです。皆さん方々のマークの有効利用を願っています。

73s

De j h l l s a T a k a

HONMA 2018 Jan. 1

PS

昨今、過去から使用している『MMNETもしくはALLJAMMNET』の呼称・表示に関して、『これらの表現はアマチュア無線における運用上、周囲からの懸念もあるようだ。』と、いくつかの御意見も耳に致しましたが、過去からのJAMMNETの経緯・流れと共に、以前より各方面へ確認をしてきた中では、特にそれらについての無線運用、また先の表示や呼称に伴う懸念は現在の所、特に見当たりません事をお伝えします。